

(目次と「編集部より」の部分のみを翻訳)

## この号の目次

### 編集部より

- ・ IFAP 地域会長と IFAP 特別会員との合同報告 2015 年 12 月
- ・ IFAP と APASWE 合同による地域ソーシャルワーク会議 2015 バンコク 写真
- ・ プレ・カンファレンスのワークショップ：ソーシャルワークのいろいろな解決方法
- ・ アジア・太平洋地域のグローバル・アジェンダの協議
- ・ パプアニューギニアのソーシャルワーカー協会の連盟への再加入
- ・ イスラエルのソーシャルワーカーの刑務所への行政拘留に対する IFSW の意見表明：  
2015 年 9 月 6 日
- ・ IFSW と COSW の役員会議 ロンドン
- ・ 2016 年 活動予定
- ・ 2016 年 会議予定

### 編集部より

多くの出来事を体験した旧年が過ぎ去ったが、それらの出来事の良いこと悪いことの思ひ出、経済的、政治的な問題、自然災害と人道的悲劇は 2016 年に持ち越された。新年には世界的な経済、政治、社会的安全への脅威が予測され、環境的災害がさらに人々を苦しめることになるかもしれない。しかし、それと同時に新たな年は人道的善意や判断が広くゆき渡り、政府がもっと良く機能するようになり、さらによりよい効果的な計画と介入がなされることにより、自然災害や人びとの生命や生活に対する損失とダメージが軽減できるようになるかもしれないという期待もある。

その点に関して、あえて国連のアジア・太平洋社会経済委員会の取り組みについて述べておくことが必要であろう。委員会は近年、アジア・太平洋災害報告書 2015—国境なき災害—を発表した。この報告書は、アジア・太平洋地域の災害からの回復の状況と持続的な発展により災害の危険が減少した場所について述べている。また、アジア・太平洋地域における新しい危険と、最大の危険が予測される地域についても指摘している。報告書は、地震、干ばつ、南洋サイクロン、洪水などの国境を越えた災害に焦点を当て、協力の精神で団結することによってのみアジア・太平洋地域は災害に打ち勝つことができると期待している。報告書は緊急に手を打たなければならない災害のリスクを減少させることが出来ていない地域についても述べている。干ばつというのはアジア・太平洋地域ではともすると忘れられがちな災害であるが、それは多くの人々を負傷と貧困に追いやっている。報告書は干ばつに対する長期的な手立てを講じ、危機を少なくすることによりその打

撃をいかに緩和できるかを示唆している。そのうえで早期の警告システムの重要性を分析し、どうしたら適切な情報を適切な人々に適切な時期に提供できるかを示している。報告書は、災害リスクの軽減のための投資は費用的に効果をもたらすが、政策的な対応が現地の適切な活動にまでに行き渡らないのが現実であると結論付けている。

実際、なされるべき課題は山積みであり、IFSW-APも、独自の方法で、アジア・太平洋地域の中のいくつかの脆弱な地域を指定して、そのソーシャルワーカーの準備と能力の強化のために投資することを行っている。それに関しては、2017年1月、マレーシアで開かれる災害に関するワークショップ5つとそれ以外のもの1つが奨励と支援を受けた。

振り返ってみるとバンコクでの地域ジョイント会議は素晴らしい体験であった。この会議の主催者と支援者は、IFSW-APの総会やグローバル・アジェンダの会議や会議前のワークショップやとくに忘れることのできないホワイト・オーキッド遊覧船での素晴らしい夕食会などが可能になるための場所と時間をよく準備してくれた。このことについて、深い感謝の気持ちを表したい。

この号では、とくに政治的に弾圧されているソーシャルワーカーたちに思いをはせて、一日も早い彼らの解放を祈りたいと思う。また、ネパールとインドがわれわれの連盟に加入したことを心から歓迎する。同時にパプアニューギニアのソーシャルワーカー協会が再加入したことにも大変喜ばしいことである。

この号の発行は遅れてしまったが、遅ればせながらすべての皆さんに幸せで平和な新年のあいさつを送る。